



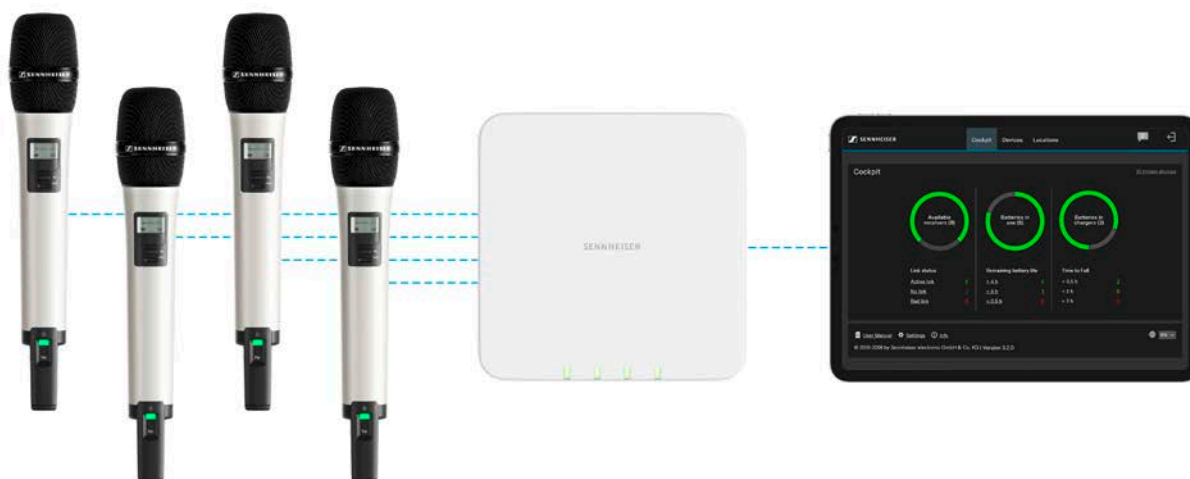
SL MCR DW | マルチチャンネルレシーバー



特長

- 壁・天井・マイクスタンド設置対応アクセスポイント
- 2または4系統のSL DW RFリンク
- 既存設備に対応するアナログ出力
- Danteインターフェース x2
- Power over Ethernet (PoE)
- Control Cockpitから完全な制御・設定が可能
- 各リンクにステータスLED
- IT/ネットワークセキュリティ規格を統合

2または4チャンネルのSpeechLineマルチチャンネルレシーバーは、SpeechLine Digital Wirelessシリーズに最適な受信機です。目立たないデザインで、壁面または天井などさまざまな室内へ迅速かつ容易に設置できます。





SpeechLine Digital Wireless

SL MCR DW | マルチチャンネルレシーバー

同梱品

- SL MCR DW マルチチャンネル受信機
- ウォールマウントアダプター
- 穴あけテンプレート
- 3ピンPhoenixコネクタ (3.81)
- クイックガイド
- セーフティガイド
- メーカー宣言書

製品バリエーション

SL MCR 2 DW-3 1,880~1,900 MHz 品番 508849

2チャンネル仕様 | 欧州, 香港, シンガポール,
マレーシア, インド, インドネシア, オーストラリア

SL MCR 2 DW-4 1,920~1,930 MHz 品番 508850

2チャンネル仕様 | 米国, カナダ, 中南米

SL MCR 2 DW-5 1,893~1,906 MHz 品番 508851

2チャンネル仕様 | 日本

SL MCR 2 DW-6 1,880~1,895 MHz 品番 508852

2チャンネル仕様 | 台湾

SL MCR 2 DW-7 1,910~1,920 MHz 品番 508853

2チャンネル仕様 | ブラジル

SL MCR 4 DW-3 1,880~1,900 MHz 品番 508854

4チャンネル仕様 | 欧州, 香港, シンガポール,
マレーシア, インド, インドネシア, オーストラリア

SL MCR 4 DW-4 1,920~1,930 MHz 品番 508855

4チャンネル仕様 | 米国, カナダ, 中南米

SL MCR 4 DW-5 1,893~1,906 MHz 品番 508856

4チャンネル仕様 | 日本

SL MCR 4 DW-6 1,880~1,895 MHz 品番 508857

4チャンネル仕様 | 台湾

SL MCR 4 DW-7 1,910~1,920 MHz 品番 508858

4チャンネル仕様 | ブラジル

アクセサリ

SL MCR Wallmount Adapter 品番 508891

仕様

システム

AF周波数特性	20~20,000 Hz
ダイナミックレンジ	> 120 dB(A)
THD (1 kHz)	typ. 0.1 %
オーディオサンプリング	24 bit/48 kHz
S/N比	> 90 dB(A)
暗号化	AES 256
RF周波数帯域	EU: 1,880 - 1,900 MHz 米国: 1,920 - 1,930 MHz ブラジル: 1,910 - 1,920 MHz 台湾: 1,880 - 1,895 MHz 日本: 1,893 - 1,906 MHz
変調方式	GFSK (バックチャンネル付き)
伝送方式	TDMA、スペースダイバーシティ
レイテンシ	19 ms

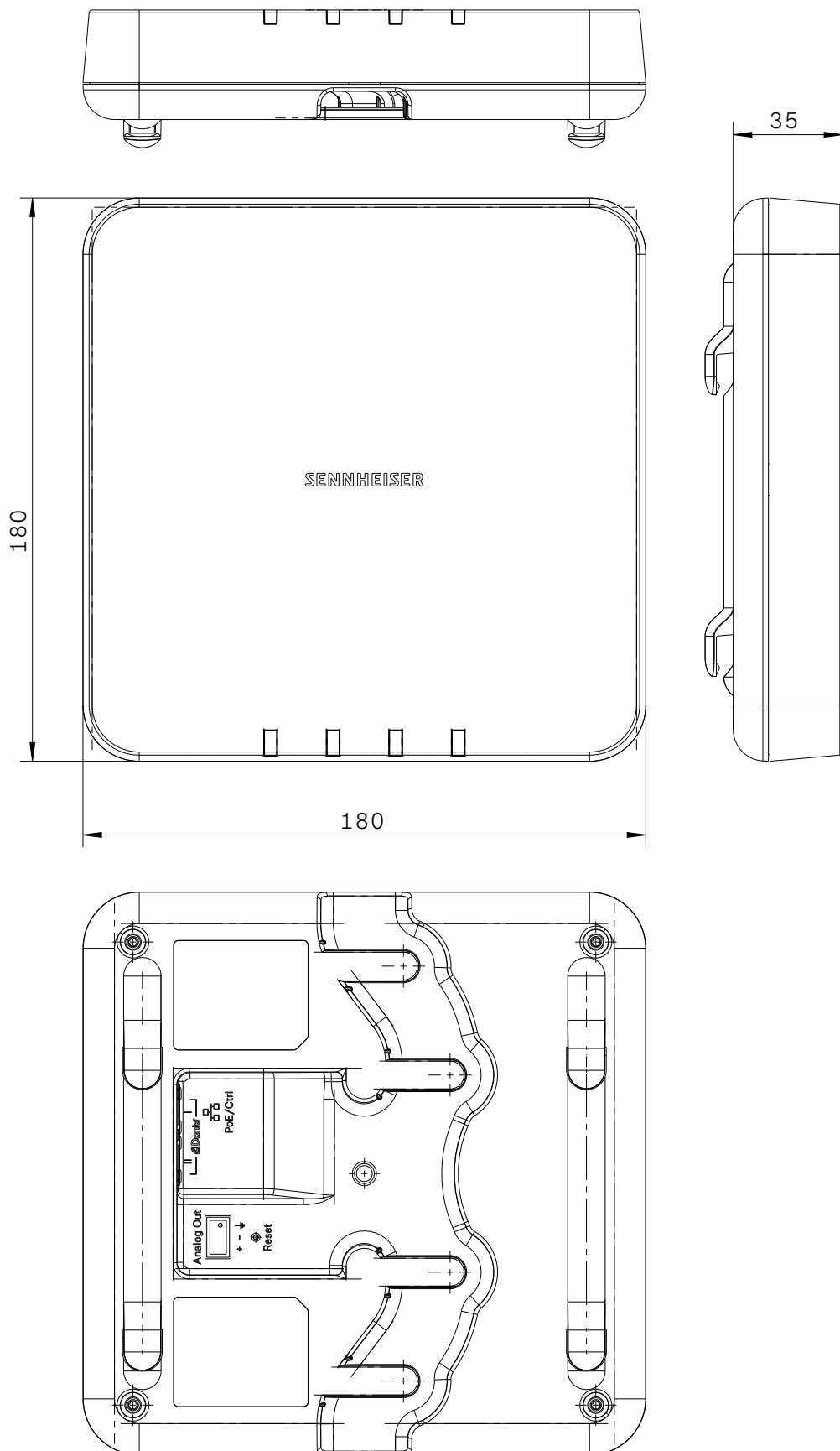
SL MCR DW

RF感度	< -90 dBm
RF出力 (バックチャンネル)	自動または手動、 最大250 mW (国・地域により異なる)
ネットワークプロトコル	Media Control Protocol、 UDP IPv4 (DHCP、手動) /IPv6、 mDNS (切替可能)
電源	PoE IEEE 802.3af Class 3
音声出力	3ピン端子 x1 (Phoenix Contact MCVW 1.5-3-ST-3.81対応) Dante™デジタルオーディオ x2 ネットワーク端子 (RJ-45)
質量	650 g (ウォールマウント含む) 560 g (ウォールマウント除く)
外形寸法	180 x 180 x 45 mm (ウォールマウント含む)
動作温度	-10 °C~+45 °C (14 °F~113 °F)
保管温度	-20 °C~+70 °C (-4 °F~158 °F)
相対湿度	最大95 %



SpeechLine Digital Wireless SL MCR DW | マルチチャンネルレシーバー

外形寸法





SpeechLine Digital Wireless

SL MCR DW | マルチチャンネルレシーバー

設計仕様

マルチチャンネル受信機は、ワイヤレスRF伝送システムの一部として最大4台の対応送信機と組み合わせて使用すること。

受信機は免許不要の1.9 GHz帯（国・地域の規制により1,880～1,930 MHz）で動作し、自動周波数管理により利用可能な最適周波数を検出・選択して自動的に伝送を開始すること。

自動干渉管理を備え、干渉を検出した場合に音声へ影響を与えずシームレスに別周波数へ切り替えること。伝送信頼性向上のため時分割多元接続（TDMA）およびスペースダイバーシティを採用すること。

2チャンネル仕様と4チャンネル仕様を用意し、アンテナを完全内蔵した控えめなデザインとする。付属マウントアダプターにより壁、天井、三脚、VESA 100へ取り付け可能であること。

RJ-45ネットワーク端子を2系統備え、PoE（IEEE 802.3af Class 3）による給電とSennheiser Control CockpitまたはCrestron、AMX等のメディアコントロールシステムからのリモート制御に対応すること。2つのRJ-45端子からDante™ネットワークヘデジタル音声を出力すること。

さらにアナログ音声出力用3ピン端子を備え、Phoenix Contact MCVW 1.5-3-ST-3.81プラグに対応すること。

受信機の制御・操作はSennheiser Control Cockpitから行えること。スピーチ最適化サウンドプロファイル、7バンドグラフィックEQ、ローカットフィルター、AGC、音声感度、音声出力レベル、送信機RF出力、送信機ミュートモード／ミュートスイッチ機能、RF同期、受信機・送信機ファームウェア更新を設定可能であること。

ソフトウェアから音声チャンネルの自動／手動ミキシングとサム信号生成に対応すること。アナログ音声出力はサム信号、デジタル音声出力は個別チャンネルまたはサム信号を出力可能であること。

受信機のAF周波数特性は20～20,000 Hz、ダイナミックレンジは>120 dB(A)、1 kHzにおけるTHDはtyp. 0.1 %、S/N比は>90 dB(A)とする。RF感度は-90 dBm。バックチャンネルのRF出力は自動調整で最大250 mW（国・地域により異なる）とする。

外形寸法は約180 x 180 x 45 mm（マウントアダプター含む）。質量は約560 g（マウントアダプター含む場合650 g）。動作温度は-10 °C～+45 °C（+14 °F～+113 °F）とする。

受信機はSennheiser SL MCR 2 DW（2チャンネル仕様）またはSL MCR 4 DW（4チャンネル仕様）とする。